

# 第14次労働災害防止推進計画に係る自主点検

本自主点検は、熊本労働局第14次労働災害防止推進計画(以下「14次防」といいます。計画期間は令和5年度から5年間)におけるアウトプット指標の達成状況を把握するため、実施させていただいているものです。点検結果については、次年度以降の14次防推進に活用させていただくこととしております。

事業場の皆様におかれましては、大変お手数をおかけしますが、ご回答にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いただいたご回答は、上記以外の目的で使用することはございません。また、すべて統計的に処理いたしますので、他に知られることはございません。

ご回答は、**令和6年11月29日(金)**までに、下記フォームに入力後「確認ボタン」を押して回答漏れがないことをご確認のうえ(回答漏れがあれば、上方に赤字で案内が出ます。)、最後に「登録ボタン」を押して送信していただきますようお願い致します。

※お送りしました自主点検実施についての「はがき」をご準備ください。

(所要時間6分)

はがきの表面に記載されている「整理番号」を記入してください。【必須】

貴事業場の所在地で当てはまるものを選択してください。【必須】

- 熊本市(北区植木町を除く)、宇土市、宇城市、上益城郡、下益城郡
- 八代市、水俣市、八代郡、葦北郡
- 玉名市、荒尾市、玉名郡
- 人吉市、球磨郡
- 天草市、上天草市、天草郡
- 菊池市、山鹿市、合志市、阿蘇市、菊池郡、阿蘇郡、熊本市のうち北区植木町

はがきの表面に記載されている「業種コード」の業種を選択してください。【必須】

労働者数を選択してください。【必須】

- 1~9人
- 10~49人
- 50~99人
- 100~299人
- 300~499人
- 500人以上

## 行動災害の防止対策について

Q1(1)

全事業場に質問です。転倒災害防止対策(ハード・ソフト両面からの対策)を実施していますか?

【必須】

- ハード・ソフト両面から実施している
- ハード面のみ実施している
- ソフト面のみ実施している
- 実施していない

Q1(2)

Q1(1)で「ハード・ソフト両面から実施している」と「ハード面のみ実施している」を選択した事業場に質問です。具体的な転倒防止対策(ハード面)を選択してください。【複数選択可】

【必須】

- 【ハード面】耐滑靴、踏みにくい靴の導入
- 【ハード面】滑りにくい床面塗装の採用、段差の解消
- 【ハード面】照度の確保等の設備の改善
- その他

Q1(3)

Q1(1)で「ハード・ソフト両面から実施している」と「ソフト面のみ実施している」と選択した事業場に質問です。具体的な転倒防止対策(ソフト面)を選択してください。【複数選択可】

【必須】

- 【ソフト面】転倒危険箇所マップの作成
- 【ソフト面】転倒防止体操の励行
- 【ソフト面】転倒災害防止に係る安全衛生教育の定例化
- 【ソフト面】通路、階段、作業場所等の整理・整頓・清掃の実施
- その他

Q1(4)

業種が「卸売業」、「小売業」、「医療保健業」、「社会福祉施設」の事業場に質問です。正社員以外の労働者(パート、アルバイト等)に安全衛生教育を行っていますか?

【必須】

- 行っている
- 行っていない
- 正社員以外の労働者がいない

Q1(5)

Q1(4)で「行っている」と回答した事業場に質問です。具体的にどのような教育を行っていますか?【複数選択可】

【必須】

- 非正規社員を含む雇入れ時の教育
- 年間計画に基づく教育
- 作業手順の作成とその周知
- その他

Q1(6)  
業種が「医療保健業」、「社会福祉施設」の事業場に質問です。介護・看護作業において、ノーリフトケア（職員の身体の負担軽減のため、リフト等の福祉用具を用いる介護技術）を導入していますか？

**【必須】**

導入している  導入していない  該当の作業がない

Q1(7)

Q1(6)で「導入している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのような取組を行っていますか？【複数選択可】

**【必須】**

- 導入のための推進チームの結成
- リフト等の福祉用具の導入
- 職員研修の実施と責任者の選任
- その他

### 高齢労働者の労働災害防止対策について

Q2(1)

60歳以上の高齢労働者の安全衛生確保のため、エイジフレンドリーガイドラインに基づく取組を実施していますか？

**【必須】**

実施している  実施していない  高齢労働者(60歳以上)は在籍していない

Q2(2)

Q2(1)で「実施している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのような取組を行っていますか？【複数選択可】

**【必須】**

- エイジアクション100のチェックリストの活用
- 身体機能の低下を補う設備・装置の導入
- 高齢者の特性を考慮した作業管理
- 高齢者の健康や体力の状況に応じた対応
- その他

### 外国人労働者の労働災害防止対策について

Q3(1)

外国人労働者に対して、母国語に翻訳された教材や視聴覚教材を用いるなど外国人労働者に分かりやすい方法で労働災害防止の教育を行っていますか？

**【必須】**

行っている  行っていない  外国人労働者は在籍していない

Q3(2)

Q3(1)で「行っている」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことを行っていますか？【複数選択可】

**【必須】**

- 職場のあんぜんサイト掲載の動画教材の使用
- 厚生労働省HP掲載のマンガ教材の使用
- 事業者が独自に作成した教材の使用
- その他

### 陸上貨物運送業対策について

Q4(1)

業種が「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」の事業場に質問です。通常、荷役作業を行っていますか？

**【必須】**

行っている  行っていない

Q4(2)

Q4(1)で「行っている」と回答した事業場に質問です。荷役作業に関して、「荷役作業の安全対策ガイドライン」に基づく措置を実施していますか？

**【必須】**

実施している  実施していない

Q4(3)

Q4(2)で「講じている」と回答した事業場に質問です。荷役作業に関して、「荷役作業安全ガイドライン」に基づき、どのような労働災害防止措置を講じていますか？【複数回答可】

**【必須】**

- 陸上事業者及び荷主等のそれぞれに荷役災害担当者を指名
- 陸運事業者と荷主等による安全衛生協議組織の設置
- 安全作業連絡書による連絡調整の実施
- 荷台の上での作業については、できるだけおりに取付けの簡易作業床や移動式プラットフォーム等を使用することにより、荷台のおりに乗っての作業を避けている
- 貨物自動車の荷台への昇降設備を備えている
- 施設側に要求性能墜落制止用器具取付設備（親綱、フック等）を設置
- その他

### 建設業対策について

Q5(1)

業種が「建設業（業種コードが03で始まる業種）」の事業場に質問です。墜落・転落防止に関するリスクアセスメントを実施していますか？

**【必須】**

実施している  実施していない

Q5(2)

Q5(1)で「実施している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

- COHSMS、ISO45001の導入
- 建設店社でのリスクアセスメントの実施
- 建設現場でのリスクアセスメント（リスクKYを含む）の実施
- その他

Q5(3)

業種が「土木工事業」の事業場に質問です。はさまれ・巻き込まれ災害及び激突され災害防止に関するリスクアセスメントを実施していますか？

**【必須】**

実施している  実施していない

Q5(4)

Q5(3)で「実施している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

COHSMS、ISO45001の導入  
 建設店社でのリスクアセスメントの実施  
 建設現場でのリスクアセスメント(リスクKYを含む)の実施  
 その他

Q5(5) 業種が「建築工事業」の事業場に質問です。切れ・こすれ災害及び転倒災害の防止に関するリスクアセスメントを実施していますか？【必須】

実施している  実施していない

Q5(6)

Q5(5)で「実施している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

COHSMS、ISO45001の導入  
 建設店社でのリスクアセスメントの実施  
 建設現場でのリスクアセスメント(リスクKYを含む)の実施  
 その他

### 製造業対策について

Q6(1)

業種が「製造業(業種コードが01で始まる業種)」を選択した事業場に質問です。機械による「はさまれ・巻き込まれ」防止対策に取り組んでいますか？

**【必須】**

取り組んでいる  取り組んでいない

Q6(2)

Q6(1)で「取り組んでいる」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

「機械の包括的な安全基準に関する指針」に基づくリスクアセスメントの実施  
 機械関係の作業マニュアルの作成及び関係労働者への周知  
 はさまれ危険箇所の見える化の実施  
 その他

Q6(3)

業種が「食料品製造業」であり、Q1(1)で転倒災害防止対策に「取り組んでいる」と回答した事業場に質問です。切れ・こすれ災害防止対策にも取り組んでいますか？

**【必須】**

取り組んでいる  取り組んでいない

Q6(4)

Q6(3)で「取り組んでいる」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

切れ・こすれの災害に関して使用機械のリスクアセスメントの実施  
 包丁の使用に関して、保護手袋の使用  
 その他

Q6(5)

業種が「食料品製造業」であり、Q1(1)で転倒災害対策に「取り組んでいない」と回答した事業場に質問です。切れ・こすれ災害の防止対策は取り組んでいますか？

**【必須】**

取り組んでいる  取り組んでいない

Q6(6)

Q6(5)で「取り組んでいる」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

切れ・こすれの災害に関して使用機械のリスクアセスメントの実施  
 包丁の使用に関して、保護手袋の使用  
 その他

### 林業対策について

Q7(1)

業種が「林業」の事業場に質問です。「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」に基づく措置を実施していますか？

**【必須】**

実施している  実施していない

Q7(2)

Q7(1)で「講じている」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

現場での事前実地調査結果に基づきリスクアセスメントを実施した上での作業計画の策定  
 適正な受け口、追い口、つるの作成  
 偏心木、裂けやすい木に対する追いつる切りの採用  
 立木の高さの2倍に相当する距離を半径とする円形の内側の範囲内の立ち入り禁止措置の実施  
 下肢の切創防止用の保護衣を着用  
 伐倒木の転落等の危険防止措置の実施  
 その他

Q7(3)

業種が「林業」の事業場に質問です。作業開始前の朝礼において、チェックリストを用いて作業者の資格を確認していますか？

**【必須】**

確認している  確認していない

Q7(4)

Q7(3)で「確認している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**【必須】**

熊本労働局で事業場向けに作成したチェックリストを用いて確認している  
 事業者が独自に作成したチェックリストにより確認している  
 その他

健康確保対策について

ア メンタルヘルス対策について

Q8(1)

全事業場に質問です。メンタルヘルス対策を取り組んでいますか？

[必須]

取り組んでいる  取り組んでいない

Q8(2)

Q8(1)で「取り組んでいる」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？次の中から取り組んでいる事項を全て選択してください。【複数選択可】

[必須]

- メンタルヘルス対策にかかる衛生委員会や安全衛生委員会での調査審議
- メンタルヘルス対策にかかる教育研修の実施
- ストレスチェックの実施
- ストレスチェック結果の集団分析
- ストレスチェックの結果、高ストレスと判定された労働者に対する医師による面接指導
- メンタルヘルス対策に関する事業場内での相談体制の整備
- 地域産業保健センターを活用したメンタルヘルス対策の実施
- 心の健康づくり計画の策定
- 職場復帰支援プログラムの策定
- その他

イ 過重労働対策について

Q9(1)

全事業場に質問です。労働者に付与している年次有給休暇はどの程度ですか？

[必須]

法定通りの日数を付与している  法定以上の日数を付与している  法定未満の日数を付与している  なし

Q9(2)

Q9(1)で「なし」以外の回答をされた事業場に質問です。直近の年度(1年間)(例:令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間)の全労働者の平均の年間有給休暇取得日数は何日ですか？

[必須]

1～5日  6～10日  11日～15日  16日～20日  20日以上

Q9(3)

Q9(1)で「なし」以外の回答をされた事業場に質問です。直近の年度(1年間)における年次有給休暇の取得率は、次のうちのどれに当てはまりますか？

【取得率の計算式】

(1年間の全労働者が取得した有給休暇取得日数)÷(1年間の全労働者に会社が付与した有給休暇日数(繰り越し分を除く))×100%

[必須]

9%以下  10～19%  20～29%  30～39%  40～49%  50～59%  60～69%  70～79%  80～89%  90～100%

Q9(4)

全事業場に質問です。勤務間インターバル制度(1日の勤務終了後、翌日の出社までの間に、一定時間以上の休息時間を設けること)を導入していますか？

[必須]

導入している  導入していない

Q9(5)

Q9(4)で「導入している」と回答した事業場に質問です。勤務間インターバルの時間数は、次のうちのどれに当てはまりますか？

[必須]

8時間未満  8時間以上9時間未満  9時間以上10時間未満  10時間以上11時間未満  11時間以上

ウ 産業保健活動の推進について

Q10(1)

全事業場に質問です。産業保健活動に取り組んでいますか？

[必須]

取り組んでいる  取り組んでいない

Q10(2)

Q10(1)で「取り組んでいる」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

[必須]

- 健康診断結果に基づく医師からの意見聴取
- 高ストレス者に対する医師による面接指導
- 地域産業保健センター等による個別訪問による産業保健指導
- 外部資源を含めた産業保健スタッフの確保と相談体制の整備
- 治療と仕事の両立支援制度の導入
- その他

エ 化学物質等による健康障害防止対策について

Q11(1)

全事業場に質問です。職場では化学物質を製造又は取り扱っていますか？

[必須]

製造している  取り扱っている  製造も取り扱いもしていない

Q11(2)

Q11(1)で「製造している」と回答した事業場に質問です。労働安全衛生法第57条及び第57条の2に基づくラベル表示・SDS交付の義務対象ではないが、危険有害性が把握されている化学物質について、ラベル表示・SDSの交付を行っていますか？

※SDSの交付については、直接交付する以外に、自社のホームページにデータを掲載するとともに、そのアドレスを相手に通知している場合も含む。

[必須]

表示・交付を行っている  表示・交付を行っていない

Q11(3)

Q11(1)で「製造している」、「取り扱っている」と回答した事業場に質問です。ラベル表示・SDS交付の対象ではないが危険有害性が把握されている化学物質について、リスクアセスメントを実施していますか？

[必須]

実施している  実施していない

Q11(4)

Q11(3)で「実施している」と回答した事業場に質問です。リスクアセスメント結果に基づいて、労働者の危険又は健康障害を防止するための必要な措置を実施していますか？

**[必須]**

実施している  実施していない

Q11(5)

Q11(4)で「実施している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようなことをしていますか？【複数選択可】

**[必須]**

危険性又は有害性の高い化学物質等の使用を中止し、より危険性又は有害性の低い化学物質へ代替化  
工学的対策・衛生工学的対策(設備の防爆構造化、局所排気装置等)  
管理的対策(マニュアルの整備、立入禁止措置、ばく露管理等)  
保護具の使用  
その他

Q12(1)

全事業場に質問です。熱中症による労働災害防止のために、暑さ指数(WBGT値)を把握していますか？

**[必須]**

把握している  把握していない

Q12(2)

Q12(1)で「把握している」と回答した事業場に質問です。具体的にどのようにして把握していますか？【複数選択可】

**[必須]**

暑さ指数計の導入と活用  
環境省の暑さ指数メール配信サービス等の活用  
その他

確認